

楠河地区タウンミーティング開催報告	
日時	令和3年11月26日（金）19：30～21：10
場所	楠河公民館 2階ホール
参加者	【地域側：15人】楠河地区連合自治会長、河原津自治会長、楠浜自治会長、成福寺自治会長、六軒自治会長、楠河小学校PTA副会長、楠河老人クラブ会長、JA楠河支所女性部長、楠河婦人会長、民生児童委員協議会長、楠河地区体育協会会長、河北中学校PTA副会長、交通安全協会楠河支部長、消防団楠河分団長、青少年健全育成協議会長 【傍聴者：3人】 【行政側：5人】市長、楠河公民館長、総務部長、環境部長、建設部長
次第	1 開会 2 挨拶（楠河地区連合自治会長） 3 市長挨拶・事業説明 4 意見交換：テーマ「楠河地区で暮らし続けるために」 ①公共施設の再編について ②生活環境について（下水道・道路整備・空家等） ③鳥獣被害について （現状と課題説明及び参加者全員による話し合い） 5 まとめ・閉会
概要	
連合自治会長挨拶	皆さんの日常生活の課題等について、地域の声を行政に届けるため開催した。皆さんには忌憚のない意見をいただき、本日の会が有意義なものとなるようご協力をお願いしたい。
市長事業説明	・コロナウイルス対策については、ワクチン接種の安全安心な環境整備と、市民生活を取り戻すため経済対策に重点を置く。 ・西条市の将来推計人口は30年間で約28%減少（2015年 108,174人 ⇒2045年 78,307人） ・人口減少対策の1つに移住推進に力を入れている。今年度は「SDGs 未来都市」の選定も受け、経済・社会・環境面から「持続可能」なまちづくりを進めていきたい。
参加者の発言	市の発言及び対応
<p>&lt;各総合支所の再編について&gt; 来年度から各総合支所の再編が行われると聞いている。高齢者率が高い地区において、総合支所の機能が低下すれば、日常生活に支障が生じることも懸念される。 現在の東予総合支所及び三芳出張所の機能が今後どのように変化するかお聞きしたい。</p>	<p>東予総合支所は名称が西部支所、丹原・小松総合支所はサービスセンターとなる。 当面、西部支所は現状のサービスを維持する計画であり、各支所はサービスセンター化に伴い、一部業務を西部支所へ移行する。 住民票等については、令和4年3月からマイナンバーカードを使用し、コンビニで取得できるようになる。（6時30分～23時の間、利用可能。年末年始・システム保守点検日除く） コンビニでの市税等納付は、曜日や時間帯に関わらず可能であるが、納税証明書への反映には若干時間がかかる。 コンビニが遠い場合もあるので、公共交通の見直しも併せて取組む。商店街や銀行等に接続する交通手段（デマンドタクシーなど）を考えていく。 三芳出張所の事務は西部支所に集約し、「サービスコーナー」として証明書の発行等を行う。月曜日は休業である。</p>
<p>&lt;公民館の機能充実について&gt; 現在、支所の窓口で直接手続きをしている行為について、今後は公民館からオンラインにより問い合わせできるようなサービスがあれば市民も満足できるのではないか。</p>	<p>様々な場面でデジタル化を進めていくが、サービスによってはアナログ媒体を続ける必要があることも認識している。 今後、公民館で解決できることも増やしていきたい。 通信環境の整備に力を入れており、顔を見ながら話ができるオンライン電話（Web会議システム）の環境を整えるなど、皆さんの要望を受け止め、対応していく。</p>

参加者の発言	市の発言及び対応
<p>&lt;公共施設マネジメントについて&gt;  公共施設は老朽化の現状、維持管理、利用状況等を踏まえ、多面的に統廃合を検討しているようだが、その方向や傾向をお聞きしたい。</p>	<p>本市は同規模自治体と比べ、1.6倍もの公共施設を所有しており、その内55%の建物が築30年を経過し老朽化が進んでいる。  現状と同じ施設規模で更新していけば、40年間で58.2億円の費用を要し、現在の1.7倍の負担となる。  人口減少が進む中で、将来世代にまで負担を強いることになり、課題を先送りすることはできない。  そこで、40年間で施設の延床面積を20%削減させながら、機能やサービスの向上を図る公共施設マネジメントを進めていく。</p>
<p>&lt;下水道整備の方針について&gt;  楠河地区は、公共下水道事業の全体計画区域に含まれているようだが、今後、国の方針によっては楠河地区の事業化が働いていくのか。  もしくは、計画は無しということになるのか。整備と事業化の見通しを教えてください。</p>	<p>人口減少に伴い、使用料収入も減少していく中で、今後、事業区域は縮小する方針とし、老朽化した施設の改築更新に重点を置いた整備方針に転換していく。そのため、事業計画区域外である楠河地区においては、合併処理浄化槽による処理をお願いしたい。  本来、公共下水道事業は、使用料収入による独立採算の経営を求められているが、現状は汚水処理費用の約半分を市税等により補っている。  なお、下水道料金は旧行政区間で差があり、3年毎に料金を見直すことで、令和10年度に統一を目指す。ただし、その後も値上げは続く。  現状で、浄化槽の維持管理費と公共下水道使用料は負担に差があるものの、将来的には同レベルにしたいと考えている。</p>
<p>&lt;浄化槽の維持管理費について&gt;  合併処理浄化槽の維持費が高い。公共下水道使用料の約2倍と聞く。  先ほどの説明にあったように、下水道料金との均衡が図られるのはいつ頃か。  また、上水道の料金を上げたように、下水道も料金の加算分を合併浄化槽の補助金に充て、浄化槽設置後は、申請しなくても自動的に還元されるようにできないか。</p>	<p>前述のとおり、下水道使用料は値上げしていくので、将来的に合併浄化槽の維持管理費と同程度になるが、その時期は現時点で申し上げられない。  それまでの間は税の平等性を考慮して、下水道事業の縮小による財源を合併浄化槽の維持管理費用の方に充てていきたい。  補助金交付（年間1万円を10年間）については、合併浄化槽の維持管理（法定検査、汲取り等）をして頂くことが前提であるため、申請方式が望ましい。  単独浄化槽を合併浄化槽に転換する場合は、最大45万円を補助する制度がある。</p>
<p>1万円の補助制度を今後手厚くしてはどうか。  河北地区で合併浄化槽を設置しているのは約260世帯である。補助金を申請しているのは約100世帯。  公共下水道と同じく水質保全を目的とするならば、合併浄化槽の維持管理も、将来的に補助をお願いしたい。</p>	<p>公共下水道の汚水配管新設整備における国庫補助事業が令和8年度で終了するため、令和9年度以降は市単独事業のみとなり、事業規模は縮小となる。この削減された費用を合併浄化槽の補助金予算に充てるということは考えられる。</p>
<p>&lt;汲取り料金の市内統一化について&gt;  少なくとも1年に1回は、し尿・浄化槽汚泥の汲取りを行うが、業者によって金額が異なっている。市で統一できないか。  5～6人用のタンクを設置したものの、現在は子どもが独立し、高齢者2人の生活となり、汲取り量は減っている。  統一料金の設定を考えていただきたい。</p>	<p>同様なご意見を聞くことが多いが、統一できておらず、現状では業者が価格を決めている。  全国的に問題視はあるものの、合特法という法律があり、市は民間業者によるし尿等の収集・運搬体制を確保しなければならない。  ただ、地区により料金価格に大きな差が出ないように管理していきたい。</p>

参加者の発言	市の発言及び対応
<p>&lt;道路整備について&gt; 生活道路各所の損傷が著しく、その度、穴埋めなどの応急処置を講じてくれている。 市においては、道路パトロール・維持管理等に努めていただいているが、高齢者が負傷することもあるので、道路補修の予定を伺いたい。 地域からの要望に沿った舗装整備等の計画や安全性を重視した今後の方向性をお聞きしたい。</p>	<p>平成28年度から令和2年度までの間に楠河地区では20路線で延長1,645m、面積5,662㎡を舗装した。今年度は市道小向線を舗装したが、生活道路においては、まだ行き届いていないことを認識している。 また、白線や停止線が消えて運転しづらいという声を多く聞く。外側線の引き直しは、道路管理者である市が担当するので、今後も出来るだけ早期に取り組む。 横断歩道については、道路舗装をやり替える時には、併せて市が引き直しているが、横断歩道のみ引き直しは警察の担当になるので、警察へ依頼している。警察でも全体を見ながら進めているので、実施には時間を要する場合もある。 市が管理する部分はしっかり補修していく。通学路も含めて優先順位をつけ、予算を確保しながら進める。</p>
<p>&lt;道路パトロールについて&gt; 道路上の穴をよく見かけるが、市の道路パトロールはどれくらいの頻度で、どういうところをしているのか。 道路舗装をやり直すとなれば費用もかかり、順番があることも理解している。 穴が開いている所は通行人が転ばないように、迅速に対処していただきたい。</p>	<p>建設道路課の職員が月に一度市街地をパトロールし、その次に山間部のパトロールと併せて穴埋め作業を行っている。 パトロールで市内全域を網羅することは難しく、実際には、皆さんからの通報により、危険な箇所の穴埋めを実施することが多い。 通報をいただいた箇所は、市道でない場合もあるが、生活道であるため、危険のないように応急の穴埋め等を行っている。舗装を要する場合は、時間がかかってしまうが工事を発注して対応している。</p>
<p>&lt;道路補修要望について&gt; 空き家で生垣の手入れができていないために、生活道路上に木の根が張り出し、道路が傷んでいる。こういった場合も要望すれば、補修は可能か。 また、要望は電話で伝えるだけで良いのか。それとも要望書などの提出が必要か。</p>	<p>例えば規模が大きく、ある程度の延長を希望する場合に要望書を提出する自治会もある。 今回ように小規模で、たちまち危ないという場合は、電話連絡でも承る。 個人的な進入道路については、市で舗装整備できないが、具体的な場所を確認させていただいてからの対応になる。 また、空き家の所有者が分からない時は、連絡いただければ、市で調べて対応している。また詳細な場所を教えてください。</p>
<p>&lt;空き家等による通行障害について&gt; 河原津地区にある松木幹一郎氏の生誕跡地に面した市道は、多くの住民が利用する。 この市道に並行して建築されている土堀が倒壊の危険性があり、通学路を変更した。地区内の有志で検討してきた経緯もあるが、解決に至らず土堀は放置状態である。 市内には同様の事案もあると思うので、ご指導をいただきたい。 また、地区内には老朽家屋が多くあるので、これらの対応策についてもご教示いただきたい。</p>	<p>倒壊が確認・予測される危険な空き家は、適切な対応をしていかななくてはならない。 建物は個人の財産で、第一に所有者が管理すべきであり、市としてまずは所有者へ連絡させていただく。 空き家対策は、シルバー人材センターによる「空き家等管理代行サービス」や、空き家情報を提供する「空き家バンク制度」がある。そして、解体費用の一部を補助する「老朽危険空家除去事業補助金制度」もある。 空き家やブロック塀が危険だという情報があれば、市で現地確認し、バリケード等の対応をするので、情報をお寄せいただきたい。</p>
<p>&lt;消防団出動時の安全確認について&gt; 消防詰所が建築されたが、消防ポンプ車が緊急出動する際、道路が狭く、危険を感じる。広くできないか。</p>	<p>皆さんで注意喚起していただき、出動時に気を付けることを徹底していただきたい。</p>

参加者の発言	市の発言及び対応
<p>&lt;鳥獣被害対策について&gt; 全国的に捕獲頭数は増加しているにも関わらず、被害地域の個体数は増加傾向にあり、依然として農作物被害がある。 楠河地区においてもイノシシによる農作物被害が頻発しており、住宅地への出没も見受けられる。楠集会所付近でシカを目撃情報が多数ある。 鳥獣被害対策は、①寄せ付けない環境生態、②侵入を防ぐ対策、③個体数を減らす対策というのが有効であると聞いている。 市における現在の取組みはどうか、また今後どのような対策を考えているのか伺いたい。</p>	<p>鳥獣被害は全国的な問題で、原因は山の管理が行き届いてないという状況に尽きる。針葉樹が伐採されたため、食糧を求めて人家に近づいている。 現在、県・市・猟友会が一丸となり、捕獲の強化に取組んでいる。①地域が主体となった取組みを推進する「地域体制づくり」、②被害防除を促進する「守り」、③有害鳥獣捕獲を推進する「攻め」の三本柱で対策したいが、やはり苦戦している。 イノシシの有害捕獲数は、平成28年度以降5年間で2倍以上の実績があるが、個体数が増えている状況であり、対策は長期に及ぶだろう。 また、令和5年度の実施に向けて防護柵の設置の検討等、地域での体制づくりもお願いしていく。</p>
<p>電気柵を設置しているが、鳥獣も知恵を付け、かいくぐるようになり、対策に苦慮している。 個体数を減らすためには、狩猟免許の取得者だけでなく、猟犬を増やすことも必要になる。 他の猟友会と協力して個体数を減らす活動をしてほしいが、市に相談したところ、各猟友会の立場もあり、お互いのエリアには入らないことで協力を求めにくいという話で悩ましい。 強いリーダーシップでなんとかしてもらえないだろうか。</p>	<p>猟友会においては、隣の地区の猟友会と上手く交じり合わないという話を聞くが、個体数を減らすという目的を達成するためには、立場を乗り越えていかなければならない。 市としては、地域の方から要望があるということを各猟友会にも伝えたい。</p>
<p>禁猟区において、イノシシが田を荒らしている。禁猟区のため猟友会にお願いすることができず、対応を急いでほしい。 町中をイノシシやシカが走っている危険な状態である。 計画とは別に、喫緊の課題としての対応方法を教えてほしい。来年、再来年まで待てない。</p>	<p>禁猟区で撃つことはできないが、鳥獣の動線をしっかり掴むことができれば、捕獲檻の設置等、対策が考えられると思う。 鳥獣との知恵比べになるので、確実に駆除できるとは言いきれない。 行政に加え、地域の対策もお願いしていかなくてはならない。その効果的な方法を一緒に考えていただきたい。</p>
<p>&lt;ワクチン接種について&gt; 西条市はコロナワクチン接種率（2回目）が11月22日時点で83.7%だが、目標値達成を目指しているのか。 12歳以下は対象に含まれるか。持病のある人が安心できるように進めてほしい。</p>	<p>希望者が接種できる体制を整えることが第一で、目標値があるわけではない。 ただ、希望者の中で接種忘れがないように呼びかけていく。12歳未満は接種対象になっていない。</p>
<p>まとめ</p>	<p>&lt;市長&gt; 市民の皆さんと一体となった地域づくりを目指し、私達行政も皆さんからの声に対応していきたいと思っている。 楠河地区の皆さんに西条に住んで良かった、住み続けたい、と言ってもらえるように全力を尽くしていく。 &lt;連合自治会長&gt; 地域の課題等について、意見交換することができた。本日の話合いが市政に反映されることを期待しながら、地域の特性に応じ、地域でも解決力を上げていく。そんな思いを持っているので、市長をはじめ職員の方にも、ご支援ご協力を賜るようお願い申し上げます。</p>

<当日の様子>

